



21 蓬莱山 横山大観 一幅

絹本着色 昭和三年（一九二八）
本紙六六・〇×九五・六

昭和三年、大礼奉祝のために久邇宮家より献上された作品。蓬莱山とは中国における伝説上の仙境の一つで、不老不死の仙人が住む地として吉祥画の題材となり、古くから描かれてきた。そうしたことから、富士を蓬莱ととらえる見方があり、古くは中国後周時代の『義楚六帖』（九四五〜九五五年、釈義楚著）に、富士を蓬莱山とみなす記事がある。これによると、不老不死の薬を探すよう秦の始皇帝に命じられた徐福なる人物が、蓬莱山を求め日本に行き着き、そこに聳える富士を蓬莱山とみなしたという。こうした「富士＝蓬莱山」というイメージは、脈々と近世・近代に受け継がれ、大観が数多く描いた富士図の中にも、富士を蓬莱山に見立てて描いたものが散見される。大観は、富士に自身の理想を映しているのだと語っているが、いついかなる時でも美しい富士の中に理想郷としての姿を見ていたのかも知れない。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

富士 ―山を写し、山に想う―

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 46

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十年三月二十二日発行

© 2008 The Museum of the Imperial Collections